

令和6年(2024年)度 イェール大学プログラム

公募要領/カリキュラム概要

令和6年(2024年) 7月

はじめに

上山 隆大 常勤議員 (内閣府 総合科学技術・イノベーション会議)

日本がイノベーションによって新たな価値を生み出すためには、大学が持つ潜在的かつ膨大なシーズやアイデアを探究し使い尽くすことが大切です。

そのためには大学のみならず官庁や産業界も大学の経営体を深く理解して知の融合がなされることが不可欠です。

経営と理念を学ぶ事例として世界トップ大学の1つであるイェール大学を取り上げ、オリジナル研修プログラムを開発しました。産学官から志ある参加者を期待します。



目次

2024年度 イェール大学 プログラム

1. 概要・応募方法
 2. カリキュラム詳細
 - 2-1. 事前自己学習 (オンデマンド)
 - 2-2. 国内事前研修 (対面)
 - 2-3. イェール大学での現地研修
- 付録: 過去参加者の声
- 付録: 大学支援フォーラムPEAKSの紹介

目次

2024年度 イェール大学 プログラム

1. 概要・応募方法

2. カリキュラム詳細

2-1. 事前自己学習 (オンデマンド)

2-2. 国内事前研修 (対面)

2-3. イェール大学での現地研修

付録: 過去参加者の声

付録: 大学支援フォーラムPEAKSの紹介

イエール大学プログラムの目的と、参加のメリット

プログラムの目的

大学支援フォーラムPEAKS／内閣府では、我が国の大学、及び科学技術・イノベーションに関わる政策動向の理解に加え、イエール大学でのディスカッションを中心とした研修を通じて、産業界・大学・政府関係者の更なる知見集積と、グローバルな人的ネットワークの構築と推進を目的に、イエール大学と開発したオリジナルプログラムを実施します。

参加のメリット



大学経営・イノベーション・スタートアップ創出等について学べる



イエール大学のトップ層より直々に学べる



産業界・他大学・官公庁との人的ネットワークが構築できる



アメリカ・イエール大学にて6泊7日の対面研修を受講できる



イェール大学プログラムの対象者

バックグラウンド



応募要件



大学

将来の大学のマネジメントを担う強い意志のある幹部教職員、またはそれにふさわしい能力を有する者

- 現在、副学長・部局長・学長補佐・副理事、事務局長、ないしそれに準ずる役職(部長・課長など)についている方を主な対象とします。
- 尚、教員・職員・URA・技術職員など、どの職種の方でもお申込みいただけます。



産業界

大学との連携・研究開発を担う人材、またはそれにふさわしい能力を有する者

- 産学連携部門・知財マネジメント部門、研究開発部門の執行役員・部長・課長、ないしそれに準ずる役職についている方を主な対象とします。



政府

大学・科学技術イノベーション政策の企画決定に携わる者

1組織から複数名ご応募いただけます。
 複数名のご応募の場合、多様性 (ジェンダー・所属部門など) のバランスに留意頂けると幸いです。

カリキュラム構成 (概要; 詳細は後述)

内容



時期・場所など



1		自己学習	<p>動画・資料・書籍等を通じて、知っていただきたい基礎的な知識を習得する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 受講決定後～2024年10月頃 詳細は受講決定後に共有いたします。
▼				
2		国内事前研修 (半日・東京)	<p>日本および諸外国における、大学政策・経営や科学技術・イノベーション政策に関する最新動向についての理解を深めると共に、プログラム受講者同士のネットワーキングを図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2024年10月19日(土) 半日 (午後開始予定) 東京(対面)
▼				
3		現地研修 (7日間・アメリカ)	<p>約13テーマについて、イェール大学のトップ層とのディスカッション、現地での視察等を行うことで、トップ大学のプラクティスを学ぶと共に、プログラム受講者のネットワークを更に深める</p>	<ul style="list-style-type: none"> 11月3日(日)～11月9日(土) <ul style="list-style-type: none"> 研修は6泊7日で実施 プログラムは月～金の5日間 日曜はウェルカムディナーあり 日本への帰国は日曜日を予定 アメリカ・イェール大学にて実施 <ul style="list-style-type: none"> 全てのプログラムを英語で実施 現時点では、同時通訳を導入しない予定

(注) 開催方法や日程に変更が生じる可能性があります

受講料・主催/連絡先

受講料



研修費用：約56万円程度

- 研修中の移動交通費
（ホテル⇄イェール大学等）/
宿泊費・日曜夕食・月～金の
朝昼夕食（木曜夕食を除く。）込み



現地までの旅費：約30～40万円

- 航空券及び宿泊先ホテルまでの
交通手段は各自で手配いただくため、
旅費は前後する可能性があります。

※費用は為替相場等の影響で増減する
可能性があります。

連絡先



本プログラムの紹介ウェブ・ページ (PEAKS内)

- <https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/kenshu.html>

本プログラムのお申し込みに関するお問い合わせ

- 大学支援フォーラムPEAKS／内閣府
<https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/>
- 大学支援フォーラムPEAKS事務局
（ボストン・コンサルティング・グループ ※内閣府より事業を受託）
担当：亀岡
メールアドレス：Peaks@bcg.com

応募要領

募集・選考のプロセス・留意事項



2024年度イェール大学プログラムは**15名**を定員とします。

- 一次募集で採用人数が定員に達しなかった場合に限り、二次募集を行います。二次募集を行うか否かはPEAKSのHPで公開します。
- 受講者については、選考委員会にて申し込み書類をもとに厳正な選考を実施したのち、最終決定いたします。選考委員会は全て非公開であり、選考の内容についてはいかなる内容についても回答することができません。ご了承ください。

受講を希望される方は、受講にあたっての業務調整等、ご自身の所属組織から協力が得られるように各所調整の上、お申込みいただきますよう、お願いいたします。

応募方法



本プログラムへの参加を希望される方は、以下【お申込み専用フォーム】に必要事項を入力し、送信してください。

※リンクをコピーしてブラウザに張り付けてアクセスしてください。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=Cy_7LSFNaEKVWXKSYUTJGJxq5qjzjJROr_npvEOYjc1UME5ORjFSV_VY0RDcwQUtZTDQ0MDY3WEExVTC4u



《お申込み締切》

一次募集〆切：2024年 8月7日 (水) 17:00 まで

二次募集〆切：2024年 8月28日(水) 17:00 まで

《結果通知予定》

一次募集：8月23日までに通知予定

二次募集：9月13日までに通知予定

目次

2024年度 イェール大学 プログラム

1. 概要・応募方法
2. カリキュラム詳細
 - 2-1. 事前自己学習 (オンデマンド)
 - 2-2. 国内事前研修 (対面)
 - 2-3. イェール大学での現地研修
- 付録: 過去参加者の声
- 付録: 大学支援フォーラムPEAKSの紹介

イエール大学プログラムのカリキュラム全体像

①事前自己学習

大学政策・経営、科学技術・イノベーション政策の基礎知識習得

国内事前研修や
現地研修に向けた準備

②国内事前研修

心理的安全性のあるコミュニティの
形成 (受講生の相互理解の促進)

ご自身(所属機関)の抱える課題・
展望等の整理と、プログラムを
通して学びたいことの明確化

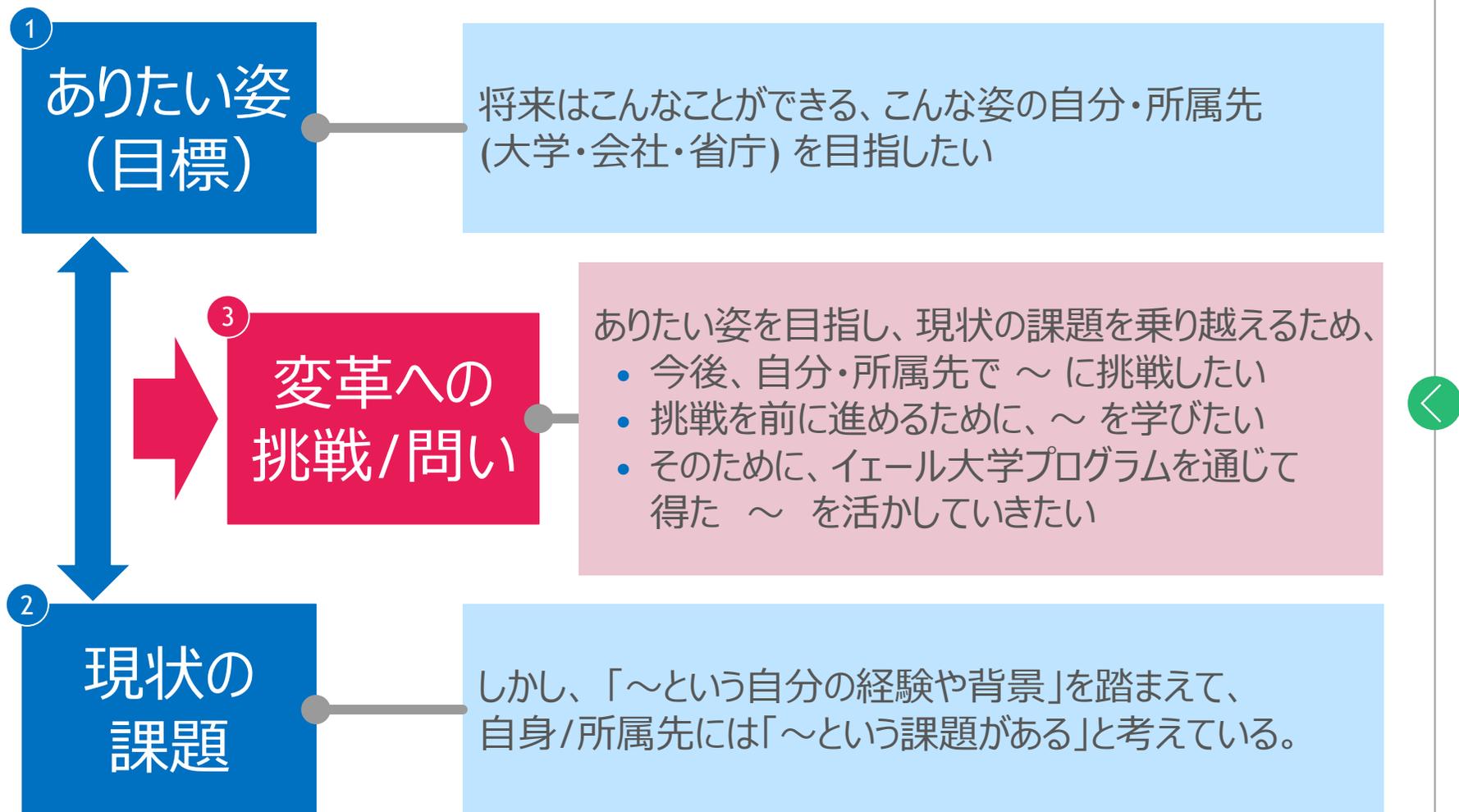
③現地研修

イエール大学とのインタラクティブな
議論を通して、ご自身(所属機関)
の抱える課題/展望等への示唆を
抽出・学習

参加者同士の対話を通し、
研修を通して得た学びと
今後の展望の整理

- ご自身(所属機関)の目指す姿
- 研修後に実行したいアクション/
考えていきたいこと 等

イェール大学プログラムのカリキュラム・フレームワーク



イェール大学
プログラムを
通じて得た
学び/気づき

目次

2024年度 イェール大学 プログラム

1. 概要・応募方法
2. カリキュラム詳細
 - 2-1. 事前自己学習 (オンデマンド)
 - 2-2. 国内事前研修 (対面)
 - 2-3. イェール大学での現地研修
- 付録: 過去参加者の声
- 付録: 大学支援フォーラムPEAKSの紹介

イェール大学プログラムの事前自己学習

事前自己学習の目的

プログラム全体の基礎となる
大学政策・経営、科学技術・イノベーション政策の基礎知識の習得

イェール大学の講師陣と議論したい
問いの探索など、現地研修に向けた
準備の実施



事前自己学習のコンテンツ (予定)

①国内動向の学習

- 大学や科学技術・イノベーション関連の政策、及び国内大学の経営改革動向など、日本国内の動向を学びます。

②イェール大学の事前学習

- イェール大学での現地研修をディスカッション中心で進めるため、事前知識のインプットを行います。合わせて、現地研修でディスカッションしたい問いを探索します。

③シンガポール国立大学の事例学習

- アジアのトップ大学であるシンガポール国立大学の改革に関し、元学長/財務担当副学長の講演動画をもとに学習することで、事例の知識の幅を広げます。

目次

2024年度 イェール大学 プログラム

1. 概要・応募方法
2. カリキュラム詳細
 - 2-1. 事前自己学習 (オンデマンド)
 - 2-2. 国内事前研修 (対面)
 - 2-3. イェール大学での現地研修
- 付録: 過去参加者の声
- 付録: 大学支援フォーラムPEAKSの紹介

イェール大学プログラム国内事前研修: 目的

- ① 事前自己学習を振り返り、大学政策・経営、科学技術・イノベーション政策の基礎情報の理解を深める
- ② イェール大学とのディスカッションに向けて、問題関心を整理する
- ③ 現地研修をともにするメンバーとのネットワーキング

目次

2024年度 イェール大学 プログラム

1. 概要・応募方法
2. カリキュラム詳細
 - 2-1. 事前自己学習 (オンデマンド)
 - 2-2. 国内事前研修 (対面)
 - 2-3. イェール大学での現地研修
- 付録: 過去参加者の声
- 付録: 大学支援フォーラムPEAKSの紹介

イェール大学での現地研修：概要

概要・注意事項

日程：11月3日(日)～9日(土)
[6泊7日]

- 日曜出国～土曜現地出発
 - 日本への帰国は日曜日
- プログラムは月～金で実施
 - 朝夕はホテルまで送迎あり
- 木曜日以外は朝昼夕食込み
 - 到着日の日曜はウェルカムディナーを用意
 - 木曜の夕食を除き、研修期間中は朝昼夕食を用意(木曜の夕食時のみフリータイム)

場所：イェール大学で実施

トピックマップ

※スケジュール・コンテンツ内容は現在調整中のため、記載の内容とは異なる場合があります。

テーマ	内容
大学経営	アメリカの研究大学の概要 Overview of the U.S. Research University
	大学経営におけるデータ活用 Data and Analytics in University Management
	戦略的な財務政策 Strategic Financial Planning
	大学教員のマネジメントとリーダーシップ Faculty Management & Leadership
	卒業生との関係構築と関係強化 Alumni Relations and Development
研究	アカデミック・プライオリティの設定 Setting Academic Priorities
	リサーチ・プライオリティと戦略 Research Priorities & Planning
	データ・インテンシブ・ソーシャル・サイエンス Data-Intensive Social Sciences
教育	イェール大学とリベラルアーツ&サイエンス教育 Yale University and a Liberal Arts & Science Education
	アカデミア外の出口を見据えた博士課程教育 ※調整中
	AIと教育 Artificial Intelligence & Teaching
産学連携/ ベンチャー 創出	イェール大学における学生のアントレプレナーシップ Student Entrepreneurship at Yale
	イノベーションを促進し支援する大学の戦略 University Strategies to Promote and Support Innovation
	産学連携の在り方 Corporate & Industry Partnerships

※講義の順序は詳細参照

イェール大学プログラム 現地研修 詳細スケジュール (現時点案 ※詳細は変更になる可能性があります)

Date	Session	Title	Speaker
Sun.		Welcome Dinner at hotel	
Mon.	Session 1	Setting Academic Priorities	Yale University PRESIDENT TBD
	Session 2	Yale University and a Liberal Arts & Science Education	Pericles LEWIS, Dean of Yale College and Douglas Tracy Smith Professor of Comparative Literature and Professor of English
	Tour	Campus, Art Gallery	
Tue.	Session 3	Overview of the U.S. Research University	Scott STROBEL, University Provost and Henry Ford II Professor of Molecular Biophysics & Biochemistry
	Session 4	Strategic Financial Planning	Stephen MURPHY, Vice President for Finance and Chief Financial Officer
	Session 5	Student Entrepreneurship at Yale	Clare LEINWEBER, Executive Director, Tsai Center for Innovative Thinking at Yale
	Tour	Yale Center for Engineering Innovation and Design	
Wed.	Session 6	University Strategies to Promote and Support Innovation	Josh GEBALLE, Senior Associate Provost for Entrepreneurship and Innovation
	Session 7	Corporate & Industry Partnerships	Kathy LYNCH, University Director, Corporate Strategy & Engagement
	Session 8	Data and Analytics in University Management	Chad LOSEE, Head of Strategy, Office of the Provost
	Tour	Library	
Thu.	Session 9	Faculty Management & Leadership	Tamar GENDLER, Dean of the Faculty of Arts and Sciences, Vincent J. Scully Professor of Philosophy, and Professor of Psychology
	Session 10	Alumni Relations and Development	Joan O'NEILL, Vice President for Alumni Affairs and Development
	Session 11	Artificial Intelligence & Teaching	Alfred GUY, Assistant Dean of Academic Affairs, Yale College; Deputy Director, Poorvu Center for Teaching & Learning (at MacMillan Center)
Fri.	Session 12	Research Priorities & Planning	Mike CRAIR, Vice Provost for Research and the William Ziegler III Professor in the Departments of Neuroscience and Ophthalmology & Visual Science
	Session 13	Data-Intensive Social Sciences	Alan GERBER, Director of the Institution for Social and Policy Studies, and Sterling Professor of Political Science
	Tour	Cultural Preservation	David SKELLY, Director of the Peabody Museum of Natural History Frank R. Oastler Professor of Ecology
		Closing	

目次

2024年度 イェール大学 プログラム

1. 概要・応募方法
 2. カリキュラム詳細
 - 2-1. 事前自己学習 (オンデマンド)
 - 2-2. 国内事前研修 (対面)
 - 2-3. イェール大学での現地研修
- 付録: 過去参加者の声
- 付録: 大学支援フォーラムPEAKSの紹介

イェール大学プログラム過去参加者の声

インタビュー①：大学経営層育成の独自プログラム産学官から多様な人材が参加

- 三菱ケミカル株式会社常務執行役員 垣本昌久様 「研究開発を所管している立場の重要性と産学官を通じた様々な仕組みを自ら動いて早く実現していかなければならないと痛感しました」
- 京都大学 教授・理事補 上杉志成様 「資金を集めるために大学が重点的に研究領域を明確にする。この点は、日本の大学が見習うべき戦略でしょう。」

インタビュー②：大学経営層育成の独自プログラムイェール大学の戦略性を学ぶ

- 一橋大学副学長 山田敦様 「自らの強みを徹底的に強くする戦略性。弱点を補う発想ではなく、強みを伸ばそうとするイェール大学の姿勢は、日本の大学も学ぶべき点だと感じました。」
- 東北大学大学院 工学研究科長補佐・総長特別補佐 高村仁様 「このぶれなさ、理念の共有を大事にする姿勢は学ぶところが多いなと感じました。」
- 大阪府立大学 国際交流担当課長 栗林知美様 「自分より一段高いトップマネジメントの目線を見られたことは研修を受講して得られた大きな成果です。」

インタビュー③：産学官から多様な人材が参加大学経営等に向けた独自プログラム

- NTT アドバンステクノロジー株式会社 取締役兼クラウドIoT事業本部長 川村龍太郎様 「研修を通じて、日本の大学に変革を起こそうとしている大学の方がこんなに多くいるのかと気づけたことは大きな収穫でした。」
- 北海道大学 総長補佐・高等教育推進機構副機構長・国際教育研究部教授 高橋彩様 「イェールプログラムにおける財務計画や知的財産、特許権、産学連携など様々なテーマを通じて、教員以外の専門家の存在が印象的でした。」

◆インタビューの詳細はこちら

<https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/program2020.html>

目次

2024年度 イェール大学 プログラム

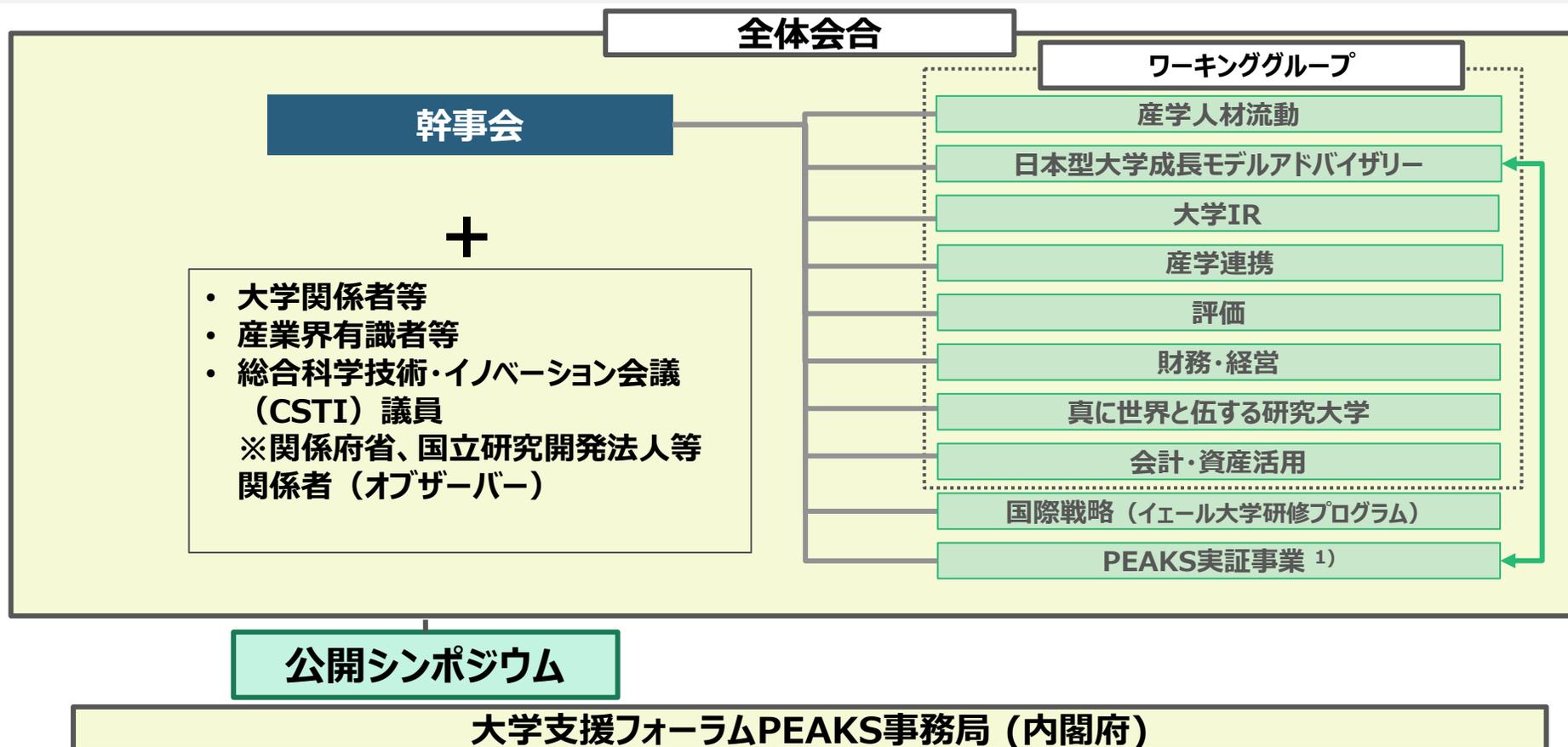
1. 概要・応募方法
2. カリキュラム詳細
 - 2-1. 事前自己学習 (オンデマンド)
 - 2-2. 国内事前研修 (対面)
 - 2-3. イェール大学での現地研修
- 付録: 過去参加者の声
- 付録: 大学支援フォーラムPEAKSの紹介

大学支援フォーラムPEAKS：活動の全体像

「統合イノベーション戦略（平成30年6月15日閣議決定）」を踏まえ、下記の目的達成に向け、産業界、大学等、政府関係者から成る「**大学支援フォーラムPEAKS***」を令和元年度に創設（内閣府の委託事業として実施）。

- イノベーション創出につながる**好事例を産学関係者で共有**し、産学ともに横展開を進めていく。
- 改革を進めるために現場が必要とする**規制緩和等の政策を関係府省に提案**し、制度改革につなげる。
- 次世代の研究大学の**経営層を育成**する。

* Leaders' Forum on Promoting the Evolution of Academia for Knowledge Society



Note: 1) 日本型大学成長モデルの具体化及びそれを支える大学経営人材の確保・育成に係る実証事業